

# 東京日々新聞

九百八十一號



大區へ持参  
白紙と拾ひ取り  
手早く妻おたけが寝床の邊りより取り散らさるる由  
あるれば

高輪南町の小泉と云ふ茶屋の亭主  
栄蔵は四月七日の夕ぐれ餘りから返りて  
見ると妻のむくひのしきの一件など見え  
制服制帽で大きな長い棒を持つ長野政吉  
と云ふ巡査が押へ付けられて居る様子を見  
オヤ手前何の悪い事と申しおとつくと立寄れ  
巡査の驚ろき杖と引提て遁んとするど一ヤ  
此奴の好い事として居た太い奴めと打て掛  
女房のさき出す野郎の飛び出すハタととくと  
大騒ぎを成りたる折ららば巡査原雪の色を見認め  
て巡査下からと拘引し其とき亭主栄蔵は  
手早く妻おたけが寝床の邊りより取り散らさるる由  
白紙と拾ひ取り  
大區へ持参

慥々何々の証據も成る處が  
ありと見える笑へる咄と  
アハハハハハハ

驗具定屋  
渡辺彫米

蕙齋  
芳幾